

平成7年11月

いじめ問題と教育相談

立正大学大学院教授 松原 達哉

いじめの増加と社会問題

現在、子どものいじめや不登校が大きな問題になっている。特に、いじめの問題は、自殺にも関係し、人権問題にも発展し、国会においてこの問題が取り上げられるほど大きな社会問題となっている。

いじめは昔からあったという人もいるが、最近のいじめは、昔からあったいじめとは違い、社会情勢も子どもの性格・行動も違っており、陰湿であり深刻であるので、真剣に考えねばならない問題である。特に、いじめや自殺があると、校長は何をしていたか、教頭は、学年主任は、学級担任は、養護教諭はどうしていたかと責任を問われ、批判も受ける。

子どものいじめは教師の指導、学級経営、教育相談の在り方等で未然に防ぐことができるといわれている。学校によっては、ほとんどいじめの問題が起きていないところもある。

教育相談の在り方

(1) いじめ傾向にある子の相談

① 子どもと十分時間をかけて話し合う

いじめっ子がどんな気持ちでいじているのか、十分時間をかけて話し合うこと。とにかく、傾聴し、子どもの気持ちになって聴くこと。家庭不和であったり、劣等感をもったり、かつていじめにあった復讐かもしれない。しかし、根掘り、葉掘り質問しないこと。温かい友好的な雰囲気、**「先生はあなた**

の味方である」という気持ちで話し合うこと。時に、いじめっ子の心情に添うような場合（崩壊家庭や虐待された子など）もある。

② 秘密を守り、信頼関係を作る

いじめっ子が話してくれた内容については、秘密を守るとともに、まずは、今後いじめが起きないようにすることが大切である。そして、教師と生徒との信頼関係を十分作っていくこと。生徒それぞれの人格を尊重し、長所を認め、自己成長力を伸ばすようにする。生徒が、何でもいつでも話せる雰囲気（関係）を作っておくことが大切である。

③ いじめは絶対あってはいけないことを認めさせる

どんなことがあっても、いじめはよくないこと、人権侵害であることをやさしく、根気強く話し合せて認めさせる。そして、いじめた子に対して謝るよう指導する。

(2) いじめられっ子の相談

① いじめられっ子の声を傾聴し、事実確認する

真剣に耳を傾けて聴き、事実を確認する。どんなに忙しくても、時間が超過しても聴く。

② チームを組んで連携し、対策を考える

学級担任は、いじめられっ子の援助、指導には、学年主任、養護教諭、校長などとも連絡し、最善の方法を考える。そして、保護者との連携を進めるとともに、場合によっては、児童相談所、人権擁護委員等とも連携する。

研究紹介(1)

生徒の相互理解を図る教育相談に関する研究

—物語文を使用した話し合い活動の実践から—

広島市教育センター指導主事 三原裕隆

望ましい人間関係づくりが、学校においては重要であると言われています。そのためには、生徒が自分の気持ちや考えを言ったり、相手の気持ちや考えをよく聞いたりする中で相互理解を図ることが大切です。本研究では、創作した物語文を使用して話し合うことで、生徒の相互理解を図ろうとしました。

物語文創作上の留意点

話し合い活動において、生徒個々の多様な価値観や考え方を引き出すために、次の点に留意しながら物語文を創作しました。

- 身近なことや思春期の課題を取り上げる
- 心理的な葛藤を生み出すような内容にする
- 登場人物は4～5人にする
- 5分以内で読め、分かりやすいものにする

話し合い活動の方法

学級を小グループ(6～7人)に分け、1時間で一つの物語文を使用し、話し合い活動を行います(図1)。このような活動を1週間に1回の割合で計6回実施し、生徒の変容を見ることにしました。

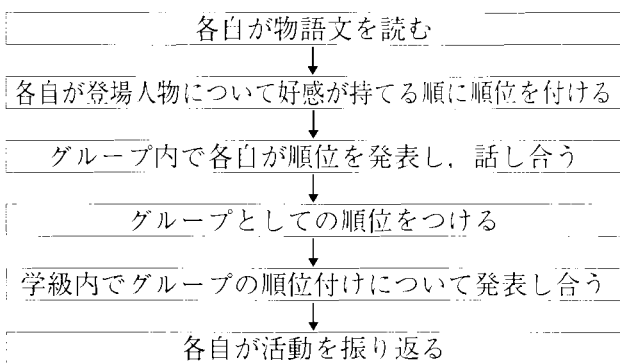


図1 話し合い活動の流れ

話し合い活動の実際

生徒は、物語文(図2)を読み、課題シート(図3)に記入しながら、話し合い活動を行いました。

「宇宙船での選択」

〔登場人物〕 船長 老人 部長 夫妻 パイロット

2085年、宇宙船フェニックス号は、2か月の旅を終えて地球をめざしていた。ところが、あと1週間を着くところで流星が直撃し酸素ポンベの一部が壊れてしまった。乗員は全部で6人で、残りの酸素量から考えると、このままでは地球に着く前に全員死んでしまう可能性が高い。ただし、計算上では5人分の酸素は残っており、5人なら何とか生きて帰れる状況であった。

乗員は大きな不安の中で、何かよい方法はないかと考えていた。その中で、会社の部長が、「今の状況なら、誰か1人が宇宙船から外へ出るしかないだろう。全員死ぬより、残りの5人が助かった方がいいのでは」と言った。

船長は「そんなことはいけない。まだ方法がないか考えよう」と反対した。そのとき、老人が「私が外へ出よう。実は……」

以下略

図2 使用した物語文の一例

〔課題シート〕

()年()組()番 名前()

1 この物語に登場する5人の人物について順位をつけてください。あなたが一番、良いと思う人物を1とし、順に2, 3...と、順位をつけてください。

登場人物	順位	順位づけの理由(簡単に)
船長	1	一番「みんなの命を守りたい」という気持ちがあると感心するから。
老人	2	自分から「出ていけ」という決心から、やさしさを思われたから。
部長	5	話の内容から見ると、「自分はせつない死を待たない」といふのが感じに思われるから。
夫	3	妻を守ろうとする気持ちは、絶対かわりない正義があるから。
妻	4	死ぬのはイヤだと思っているのに、ルールに従おうと(は)から。自分より

図3 生徒が記入した課題シート

実践後の生徒の様子

今回の実践は、生徒の「自己表現」を促したり、「自己肯定感・自信」を高めたりすることにおいて有効であることが分かりました。意見交換に興味を示す生徒も多く見られました。今後、学校において長期にわたる実践が試みられれば幸いです。

(平成7年度広島市教育センター研究紀要第15号より)

研究紹介(2)

学習に著しい困難が見られる児童の指導に関する研究

—自己統制を図る指導を通して—

広島市教育センター指導主事 中尾秀行

学級の中には、学習面において聴く、話す、読む、書く、または計算するなどの能力の習得が著しく困難であるとともに行動や情緒面でしばしば不適応な状態になる児童がいます。このような学習に著しい困難が見られる児童には、能力の全般に遅れがないもののある特定の能力の発達につまずきや偏りがあることがあります。また、集中力が乏しい、じっと座っておくことができないなど自己統制を図れない

こともあります。

そこで、学習に著しい困難が見られる児童の自己統制を図ることに有効な指導プログラムを作成しました。この指導プログラムは、通常の学級や障害児学級、通級制の学級とさまざまな指導形態に共通したものであり、3段階の指導の流れで行うようになっています。

自己統制を図る指導プログラム例

	指導の流れ	主な内容	基本的に踏まえること
第1段階	安定した学習態度の形成を促す	<ul style="list-style-type: none"> ○情緒の安定を図る ○学習への意欲・自信をもたせる ○興味・関心や好みに応じた課題を設定する ○気持ちの受容を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・パニックを起こしているときは、つらい気持ちを理解して落ち着くまで待つ ・好きな運動や遊びをさせて気持ちの発散を図る ・学習の始めに学習の予定を提示し見通しをもたせる ・児童の得意なことを学習に取り入れる
第2段階	基本的な問題解決方法の習得を促す	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単な課題から難しい課題にアプローチさせる ○難しい課題から簡単な課題へと進ませる ○他者からの賞賛を受けさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みやすく、達成しやすい課題を準備する ・課題に対する解決方法を一緒に考える ・活動場面が変わるときサインを使う ・決まったパターンによる学習を設定する ・注意が散漫になる前に次の課題を準備する ・注意や禁止、制約ばかりにならないようにする ・具体的なことばで肯定的評価を行う
第3段階	自ら新しい課題を解決する意欲を促す	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲の向上を図る ○課題の達成感、成就感を味わわせる ○他者からの承認を受けさせる ○児童に適した課題の解決方法を見つけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた行動ができるように自分の行動を言語化させて意識させる ・課題の解決の方法や順序が分かるようなシートを準備する ・与える課題のレベルを適切に選択する ・課題を達成したり努力したりすると必ず賞賛する ・不安定になりやすいときはあせらず待つ

学習に著しい困難が見られる児童は、学習に適応することが難しく、不適応行動が現れやすくなるため早期に対応することが必要であり、しかも、児童

の状態に応じてより具体的な指導プログラムを考えていくことが重要です。

(平成7年度広島市教育センター研究紀要 第15号より)



活用してみませんか 生活科(小)

○ ネイチャーゲーム

自然とのかかわりを深める有効な方法として、ネイチャーゲーム(自然体験ゲーム)があります。これは、自然や環境をゲームを通して楽しみながら体験し学ぶプログラムで、1979年、アメリカのJ. コーネルによって考案されました。現在60数種の様々なゲームがありますが、自分の感覚を通して自然とのふれあいを楽しめるのが特徴です。次はその一例です。

プログラム名「わたしの木」—二人組で—

目隠しをし、体全体で感覚的に木の特徴をとらえる。他方が元の場所へつれて戻り目隠しを取る。今度は自分でその木を探しに行く。

木の色、臭い、形、音、手触り、肌触りから楽しく自然をとらえることができます。

単元の導入や発展の部分で活用できます。

見直してみよう 数学科(中)

○ 課題学習的な教材作り

第2学年及び第3学年に課題学習が導入されたことに伴い、生徒一人一人が自ら課題を見だし、自らの方法で解決していく主体的な学習展開を目指した、教材作りの工夫が進められています。

生徒が自ら課題を見いだす力を育てるためには、課題学習はもちろんのこと、今まで以上に第1学年からすべての単元において課題学習的に教材を見直すことが大切です。

例えば、「課題を発見する方法」、「教材を発展的にみたり考えたりする方法」、「日常事象を数学的にとらえる視点や方法」、「数学の問題を日常事象に結び付ける帰納的な方法」などが生徒に身に付くような視点で教科書題材等に工夫を加えていきたいものです。

すすめていきましょう 家庭科(高)

○ 高等学校における消費者教育

平成6年に(財)消費者教育支援センターが全国を11ブロックに分け、小・中・高校生消費生活の実態を調査しました。この調査結果によると、高校生の41%がキャッシュカードの使用経験をもち、また、30%近い生徒がクレジットカードの所持を希望していることが分かりました。キャッシュレスで買い物ができる便利さを体験しているためにこのような結果がでたと考えられます。クレジットカードは便利ですが、支払いをする義務もあります。社会人となったばかりの若者のカード破産が増加している現状を考えますと、昨年度から始まった高等学校の男女必修の家庭科においても、消費者教育の一つとしてカードの使用方法などを指導することが今後必要になってくると思われれます。

工夫しましょう 幼稚園

○ 保育記録の目的と方法

幼児を理解し評価するためには、保育記録をつける必要があります。記録する際の観点や方法のいくつかを紹介します。

① 幼児と環境とのかかわり

環境図に、幼児の遊び方や遊具の使い方を絵図やことばを使って書く。

② 幼児の活動と友達関係

時間経過と共に活動名を書き、それにかかわった友達の名前を記入する。

③ 気になる場面での幼児の様子

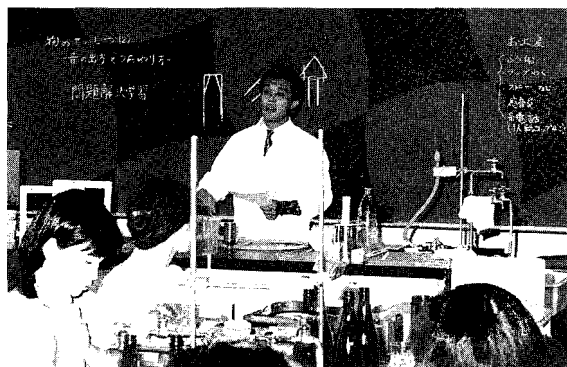
幼児の会話を中心に記録し、その出来事の状態を簡単に文章化する。

時には、自分の保育を第三者に記録してもらい、振り返ることも必要です。保育記録の工夫について園内でも考えてみませんか。

○
○
○
話題の広場
○
○
○

受講者の声

小学校理科実験講座



この講座は、2・3学期に指導する学習内容が取り上げられているため、すぐに活用できます。特に、講座の内容として、指導書に書かれていない実験材料や実験方法などが豊富に盛り込まれ、子どもの主体的な学習活動を思い浮かべつつ、私自身も楽しみながら研修できました。

広島市立牛田新町小学校教諭 松野 光陽

中学校美術科実技講座



桂材を使って、猫をモチーフに調味料入れを制作しました。ラフスケッチから始め、自分でも満足できる物が作れました。ウッドシートなどの新しい素材の体験や、わかっているつもりで生徒に教えていたことの再確認ができたことも大きな収穫でした。来年の講座が楽しみです。

広島市立楠那中学校教諭 大津かおり

幼稚園教育実技講座（1組）



一口に粘土と言っても、ダイナミックに遊ぶ物から指先で形や配色を考えて作る物など様々で、新しい素材に出会ったり、色々な遊び方を知ったりすることができました。保育にすぐ生かせる内容でしたので、温かい手作りの物を取り入れた環境をつくっていきたいと思います。

広島市立阿戸幼稚園教諭 二川さゆみ

障害児教育実技講座



「わあ、きれい、かわいい！」シルクスクリーンの手法で模様付けした手作りTシャツを見せた時の子どもたちの反応です。私自身も、手作りの楽しさを味わうことができました。子どもたちに、手作りの楽しさ・おもしろさを伝えることができるこの講座を毎年楽しみにしています。

広島市立緑井小学校教諭 廣澤 清子

— 教育相談室から —

Q おこたえします A**不登校の子どもやその保護者とのかかわり方**

《不登校の子どもへの家庭訪問》

Q 中学1年の男子生徒です。9月の半ばから、登校しなくなっています。家庭訪問して本人と話をしようと思います。その際の配慮すべきこととしてはどのようなことがありますか。

A 不登校の子どもの気持ちを理解する上で、家庭訪問は有効な方法の一つです。しかし、訪問するには十分な配慮が必要です。よかれと思って訪問することが、マイナスになることもあります。家庭訪問をする際には、次のような配慮が必要です。

○ 訪問日時に配慮し事前に了解をとる

不登校の子どもは、登校する時間帯に緊張や不安が高まる傾向にあります。したがって、訪問する日時は、子どもの気持ちが安定する週末か放課後がよいでしょう。訪問の際には、あくまでも事前に保護者と連絡を取り、訪問日を決めるようにしましょう。

○ 子どもの状態に応じたかかわりをする

子どもは、「何を言われるだろうか」「なぜ登校しないのか」など教師から問いつめられるのではないかと不安を抱えています。そこで子どもに会えた場合は、不登校の理由を聞いたり、登校を促したりするのではなく、心配して訪ねたことや不安・苦しみを理解しようとしていることが伝わるように接しましょう。「顔を見て安心したよ」と声かけするのもよいでしょう。

子どもが教師に会おうとしない場合は、子どもは教師がどのようにするか、様子をうかがっているものです。子どもには心配して訪ねたこと、会わないことを責めていないことが伝わるようにしましょう。

○ 訪問後の様子を知る

訪問が子どもによかったかどうかは、教師が帰った後から現れます。訪問後の様子を保護者に尋ねて、今後の指導・援助の参考にしましょう。

《不登校の子どもの保護者との話し合い》

Q 不登校の子どもを担当するのは初めてです。保護者と話し合うために学校に来てもらおうと思っています。どのようなことに心がければよいのでしょうか。

A 不登校の子どもの指導・援助を行う上で、保護者との話し合いは重要なことです。その際、教師の姿勢が話し合いを意義あるものにするか否かを決定すると言ってもよいでしょう。そこで、保護者との話し合いの持ち方について述べます。

○ 保護者の自責の念や苦しみを理解する

子どもが不登校になると、最初、多くの保護者は、自責の念にかられます。そして、子どもを登校させようと努力しますが、なかなかうまくいきません。保護者は、毎朝なんとか子どもを登校させようと努力し苦しんでいることを理解する必要があります。

○ 保護者の不安を受けとめる

学校に呼ばれることは、保護者にとってとても不安なことです。そんな保護者の気持ちを理解することに重点をおきましょう。

子どもの不登校が長引くと、保護者は登校させようと焦り、「このままでは…」と不安感が強まります。このような時に、教師が登校を促すような言動を示すと、保護者にますます焦りを生じさせ、結果的に子どもの不安感を強めてしまいます。教師は焦らず、保護者の不安をしっかり受けとめるようにしましょう。

○ 保護者と共に考え、歩むように努める

「～にしてください」などと一方的に要求することは、保護者の不安感を強めます。不安感を和らげるためには、共に考え、歩む態度が必要です。

広島市教育センター 教育相談室 (082) 223-4152

いじめ110番 (082) 223-4420

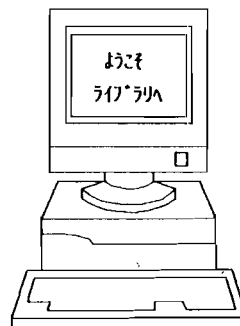
整備します！ 2000本のソフトウェア

教育センターでは、センター内の第2教育工学室にソフトウェアライブラリを設置し、平成8年4月から利用できるように準備を進めています。

ソフトウェアライブラリは、先生方が学習指導等に必要な教育用ソフトウェアを適切に選ぶために、ソフトウェアを直接試用することができる施設です。そのために、市販されている教育用ソフトウェアのうち約2000本を収集します。

整備するソフトウェアは学習指導用が中心になりますが、ワープロソフトをはじめ、時間割作成や成績処理等のソフトウェアも整備します。

最適なソフトウェア選びのために、ライブラリを是非ご利用ください。



新規購入図書を紹介

今年度新規に購入した教育関係図書の一部を紹介します。図書資料室に配架しておりますので、ご利用ください。

『書名』 編著者名(発行所名)	『書名』 編著者名(発行所名)
『子どもの虐待』西澤 哲(誠信書房)	『パソコン天文ライフ入門』天文ガイド編集部(誠文堂新光社)
『性の授業主要展開例一小学校編・中学校編一』橋本紀子ほか(大月書店)	『打楽器事典』網代景介ほか(音楽之友社)
『文化と教育をつなぐ』山住正己(国土社)	『現代芸術入門』中原佑介(美術出版社)
『不登校の研究』稲村 博(新曜社)	『図解木工技術 第2版』佐藤庄五郎(共立出版)
『近代文学にみる人権感覚』川端俊英(部落問題研究所)	『33の授業展開例で示す小学校性教育の全貌』藤田和也(東山書房)
『近代日本における教育と国家の思想』籠谷次郎(阿吽社)	『英語音声指導ハンドブック』高本裕迅ほか(東京書籍)
『教育行政学の課題』中島直忠(教育開発研究所)	『子どもの可能性に立つ道徳教育』新宮弘識(国土社)
『事例考察「事件」の中の教師たち』下村哲夫(教育開発研究所)	『見てわかる小学校学校行事のクイック演出資料集』児島邦宏(明治図書)
『学校経営のための法社会学』高野桂一(ぎょうせい)	『メディア・リテラシー』カナダ・オンタリオ州教育省(リベルタ出版)
『学習指導用語事典』辰野千寿(教育出版)	『対人不安』M. R. リアリー(北大路書房)
『音声言語教育実践史研究』増田信一(学芸図書)	『探検授業のつくり方』岩本廣美(日本書籍)
『公民科「倫理」「現代社会」教材化の研究』 東京都高等学校倫理・社会研究会(東京書籍)	『保育者研修シリーズ』柴崎正行(フレーベル館)
『数学授業10分間パソコン利用』吉田信也ほか(明治図書)	『自閉症』G. ドーソンほか(日本文化科学社)
	『実践研修技法ハンドブック』鈴木伸一(実務教育出版)

図書資料室利用案内

- 開室時間 月～金 9:00～17:00
- 個人貸出 3冊まで 2週間以内
- 団体貸出 10冊まで 3週間以内
- ※ ただし、3月の月始めから1週間は整理期間のため利用できません。

図書資料室からのお願い

- 各学校、園、社会教育施設での教育研究物や刊行物をご寄贈ください。教育実践や教育研究の参考資料として整理、配架し、大切に保管いたします。
- なお、研究物等の資料は閲覧のみで、貸出しは行っておりません。
- 多くの方にご利用いただけるよう返却期日をお守りください。

教育センターひろば

平成7年度教育研究

教育センターでは、指導主事が継続的に教育研究を行っています。研究を進めるに当たっては次の先生方に研究協力員をお願いしています。

平成7年度 教育研究

研究領域(担当者)	研究主題	研究協力員氏名(所属)
国語科教育(財津伸子)	表現力の育成を目指す単元学習に関する研究	縄本 幸子(井口台中) 山崎 英芳(船越中)
理科教育(松浦俊雄)	中学校理科における表現力を育てる学習指導の在り方に関する研究	荻野孝太郎(福木中) 松浦 泰博(井口中)
美術科教育(福原正明)	中学校美術科における主体的な造形活動を促すネットワーク題材の開発	大津かおり(植那中) 安武 修(東原中)
外国語(英語)科教育(松脇守弥)	中学校外国語(英語)科のティーム・ティーク・チングにおける指導と評価に関する研究	西川 和子(古田中) 東岡 理恵(龜山中)
障害児教育(中尾秀行)	精神発達に遅滞のある児童の生活単元学習の効果的な指導に関する研究	国信 潤哉(千田小) 太田 知哉(豊沙門台小)
生徒指導・教育相談(松田了二)	学校における教育相談の推進に関する研究	川本 真洋子(五日市小) 瀬尾 洋子(己斐中)
教育工学(神津住男)	児童生徒の情報活用能力を育てるコンピュータ活用に関する研究	中高山 秀男(段原小) 山口 俊三(原小)
平和教育(越智文嗣)(木村正信)(三原裕隆)	広島市の子ども達の平和意識に関する調査研究	西谷 栄(中島小) 廣藤 誠(本川小) 西山 克行(早稲田小) 登 民夫(牛田小) 沖原 正和(幡町中) 小川 直明(国泰寺中) 木川 一之(日浦中) 神原 恵子(観音中) 木川 賢治(神崎小) 柳原ひとみ(皆実小) 清水 勲(井口中) 鳴戸 裕子(安佐小) 廣澤 正次(長束中)
性教育(江田英俊)(中山千恵)	豊かな人間性を育てる性教育の研究	

また、政令指定都市の各教育研究所との共同研究も行っています。

指定都市教育研究所連盟 共同研究(吉竹那昭)(尾形慎治)	都市の子どもの生活と意識に関する調査研究
------------------------------	----------------------

広島市教育センター教育研究発表大会

研究発表大会を9月5日に行いましたところ、130名ものご参加をいただきました。誠にありがとうございました。

来年度は、さらに充実した大会を目指していきたいと思っております。ご期待ください。



教員特別研修生

(平成7年10月～平成8年3月)

今年度後期は次の6名の先生方が、当教育センターにて、研究を進めておられます。

- 音楽科教育：後藤 尚史教諭 (中筋小学校)
- 道徳教育：尼子 博崇教諭 (五日市観音西小学校)
- 数学科教育：平野 聡教諭 (庚午中学校)
- 理科教育：住吉 磨教諭 (祇園中学校)
- 生徒指導：末友 亮二教諭 (日浦中学校)
- 教育相談：井村 智一教諭 (城山北中学校)

広島市立学校教育研究生

(平成7年9月～11月)

今年度は次の17名の先生方が、当教育センター及び在勤校にて、研究を進めておられます。

平成7年度 広島市立学校教育研究生

校種	研究部門	氏名	所属校名
小 学 校	理科教育	須賀 卓也	矢野小学校
	生活科教育	中村 ミユキ	真亀小学校
	音楽科教育	叶堂 秀城	白鳥小学校
	図画工作科教育	三京 真理	占市小学校
	家庭科教育	中川 昭江	井口台小学校
	生徒指導	足立 健	草津小学校
	障害児教育	植田 初美	皆実小学校
中 学 校	保健管理	清石小百合	比治山小学校
	国語科教育	宇田 昭史	可部中学校
	社会科教育	原之園 和弘	山田中学校
	理科教育	薄 秀行	長束中学校
	保健体育科教育	西田 康範	清和中学校
	外国語(英語)科教育	柴田 知子	城南中学校
	教育工学	原田 知志	己斐中学校
高等学校	数学科教育	菅本 和秀	沼田高等学校
養護学校	教育相談	越田美智子	広島養護学校
幼稚園	幼稚園教育	石田 栄子	日田幼稚園

表紙絵 広島市立中山小学校校長 白石 春雄
題字 広島市立段原小学校教頭 鷺見 澄子

編 集 後 記

今回の巻頭言は、今年度の教育経営講座の講師にお招きした松原達哉先生をお願いいたしました。指導の充実にご活用ください。